

森からのお手紙

1号
2017

Topics

森のこよみ 2017四季

世界のお墓 Vol.1 イギリス サウスダウンズ自然埋葬地

「分骨証明書」についてのお話

お客様物語 和田みどりさん



お客様 物語

第1回

50cm四方の地主



今回のお客様
和田みどりさん

開苑から一年半、多くのお客様との出会いがありました。お一人お一人積み重ねてこられた人生が異なるように、お墓の選び方も実に様々でした。その思いや考えは、今お墓を探している方々にとって参考になるのではないかと思います。契約された方の声を少しずつお届けしたいと思います。

今回はトップバッターとして、合葬墓コナラの区画をご自身のお墓として契約いただいた和田みどり様に、森の墓苑を選ばれた理由や思いをお聞きしました。和田さんは、埼玉県ご出身で、建設会社やライターのお仕事をされながら2人の息子さんを育てられました。日々の暮らしの中でふと目にする草木や野鳥の姿に、心を和ませてきたそうです。

和田さんが森の墓苑を知ったのは、朝日新聞に掲載された開苑の第一報。何より森の墓苑のコンセプトに共感したといえます。

「発想そのものが今まで私の知る限りではないものだった。樹木葬というのはよくあるけど、私がこういうのがいいなと思うのとは全然違っ

猫のくまちゃん存在です。「骨になっても一緒にいたいという強い思いがある。長らく愛情を交わしてきたものと一緒に埋まるといいうのは、とてもいいと思ったの」。森の墓苑は全区画でペットも埋葬することができ、和田さんは、くまちゃんのお骨を自分のお骨と同じ布に入れて埋葬することを希望されています。

和田さんがお墓を探そうと思ったのは、ご自分の身に起きた思いもよらない出来事がきっかけでした。約6年前、自転車で行行中に12トン車と接触するという事故に遭ってしまったのです。腰や手足の骨折、頭部裂傷などの大けがを負いながら間一髪命をとりとめました。そしてその翌月3月11日には東日本大震災が起こりました。

「頭の上」にタイヤが来ていたら死んじやったのかもわからない。人間て急に死ぬんだと、死を身に迫るものとして再認識した。そう思い、考えをめぐらせているときに森の墓苑の記事を見たのだそうです。和田さんは森の墓苑の契約と並行して、三つの決断をしました。一つ目は葬式を執り行わないこと、二つ目は延命措置を拒否するために尊厳死協会へ登録すること、三つ目は献体へ登録することです。そしてその決断を、2人の息子さんとご家族に話します。息子さんたちは、意外とあっさり受け入れてくれたそうです。それは、止めても無駄だという投げやりな態度ではなく、和田さんの決断に対し、心から共感し、賛同するもの

ていて、例えば花の咲く木がめつぼう植わっているという所は、一見とても綺麗かもしれないけれど、私の目から見ると全然綺麗じゃない。ちつとも気持ち安らがない」。和田さんは、庭園のような緑の空間よりも、野生の生きものがくらす自然の方が落ち着くといえます。自分が眠る区画を自然地として確実に残すことができることに賛同し、合葬墓の区画を契約しました。

「人に生まれた以上は、どんなに気をつけても自然を壊し続けてきた何十年があるわけです。50cm四方地主として、元々あった植生に戻す、保全ができる、それがせめてもの罪滅ぼしだと。埋め合わせるにはあまりにもささやかですけど、ある程度は想いを遂げられるかなって」

また、樹木葬墓地は、お寺が運営していることが多く、和田さん自身が信仰を持たない人生を歩んできたため、そうした墓地に入ることに違和感を感じていました。「そこに帰依していない者が信仰と関係のあるところに埋まるというのは、むしろ冒険じゃないかと思っただんです」。森の墓苑は宗教との関わりは一切ありません。和田さんは、信仰のイデオロギーから外れているところがいいと思います。

そして、和田さんにとって重要なこと、それは今一緒にくらししている

でした。

「私それはほんとにね、嬉しかったのね。肯定するという返答を息子たちそれぞれからもらった。それは私にとって、この人間関係はとてもいいものだったねということの証しなわけ。(中略)森の墓苑に決めたことから始まった一連の身の処し方の決定については、気持ちの晴れ晴れするような嬉しいことが続きました」

森の墓苑にはすでに3回ほど訪れている和田さん。「まだ馴染みはないけれど、なんていいところなんだろう、5年後森になって、だれかが花や虫を見つけながら散歩するんだろうと想像するととても嬉しい。わくわくする」と言います。コナラの成長を見に来るのが目下の目標で、いつか近くの沢にすむゲンジボタルも見に来たいとのこと。そして目的はもう一つ。

「勝浦行って海鮮丼を食べるのが楽しみなの」

終始、明快な言葉で明るくお話くださった和田さん。森の墓苑を決めた理由をすべて挙げ、最後に「それが、私が本当に心から喜んでここに決めた理由です」とおっしゃった笑顔が印象的でした。

サウスダウズ 自然埋葬地

英国には、様々な特徴を持つ自然埋葬地が270か所以上あります。その中の一つ、サウスダウズ自然埋葬地は、持続可能な社会づくりを目的としたチャリティ団体の組織であるサスティナビリティセンターが運営するお墓で、針葉樹の植林地を在来種の植樹により再生している森の一角にあります。

英国は日本とは異なり土葬や散骨も法的に認められています。この自然埋葬地も、全て可能ですが、棺やお骨入れなど埋葬するものは自然素材もしくは自然にかえるものに限定されています。敷地内の動植物への影響を最小限にして静寂を守るために、埋葬する穴は全て手掘りです。墓石などの設置はできません。代わりに、記念樹や在来種の草花を植えることができます。また故人へのメッセージを込めたベンチや巣箱の寄付も可能です。敷地内の小路にはたくさんのベンチが設置されています。運営団体は、環境教育活動にも力を注いでおり、小中学校の研修の受け入れや、ワークショップなどを行っています。自然埋葬地で得た収益は、これらの活動にも活用されており、将来を担う次世代の教育に貢献できるお墓として多くの方に利用されています。



「分骨証明書」についてのお話

最近では、お墓から離れて暮らしているためお墓詣りに行けない等のご事情から、お骨をお手元でも供養したいと、分骨を希望する方が少なくありません。ご自分で自宅などで管理する限りは必要とされませんが、将来、そのお骨を墓地へ埋葬する可能性が考えられる場合は、分骨証明書の交付を受けておくと安心です。近年、火葬場でも分骨証明書の発行ができるようになり、(1) 墓地(納骨堂)管理者による発行と、(2) 火葬場管理者による発行の2通りの方法があります。

森の墓苑では埋葬後の改葬やお骨の取り出しはできませんが、ご納骨と同時に一部を分骨してお持ち帰り頂くことは可能です。その際は当苑より分骨証明書を発行させていただきます。お気軽にご相談下さい。



(公財)日本生態系協会 森の墓苑東京事務所
東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル
フリーコール 0120-901-580 (9:00 ~ 18:00)
ホームページ www.morinooben.org

見学予約
問い合わせ

《四季便り・春》

3月、「森の墓苑で森づくり植樹会2017」を開催しました。春のぼかぼか陽気の中、約20名で植樹を行いました。今回植樹した木は、合計18本。スタッフが墓苑の周辺の木々の種や実生から育てた苗木です。ウグイスのさえずりが響く中、植樹前に行った観察会では、フキノトウやタチツボスミレなど春の草花との出会いを楽しみました。



5月には、昨年植樹したムラサキシキブやヤブムラサキが初めて花を咲かせました！種から育て始めて、4年目です。葉のつけ根に薄紫色の蕾をみつけたときは、スタッフ全員が見惚れ、言葉にならないほど感動しました。お墓参りに来られたお客様も、可愛いその花を見てとても喜んで下さいました。翌6月には、区画内の苑路を整えました。それまで歩きにくかった坂道やデコボコ道が改善されています。歩きよくなった苑内環境を、少しでも感じて頂ければ幸いです。



《四季便り・夏》

管理棟の前にはマダケの竹林が広がっています。夏場は管理棟前に日陰をつくってくれてくれるので有難い存在なのですが、放っておくと広がっていき、広葉樹林を竹林化してしまう厄介者でもあります。そこで7月、竹林の一部の伐採を行いました。伐採後は落葉広葉樹の木々を植え、刈った竹は粉碎機にかけ堆肥づくりのための竹チップとして役立てています。

この夏はペットと一緒にご納骨が何度かありま

森のこよみ

この一年の出来事を季節の流れにあわせてお伝えします。



した。中には9頭の犬たちも一緒に参加したり、小さいお子様が愛犬との別れを惜しみながら見送りに立会う場面もありました。いずれも悲しみのなかにも、なぐさめと癒やしが感じられるご納骨で、「ここに眠れて良かったね」というお客様の声に大変励まされる思いでした。



《四季便り・秋》

10月を迎えると森全体が秋の気配をおびはじめ、鮮やかな紫や赤に染まった木の実が、森の風景に小さな色味をそえてくれます。今秋は昨年にくらべ実のつきが早く、ガズミやムラサキシキブといった苗木の種取りも、急ぎ足でまわりました。

野草の種まき作業も少しずつその成果をあらわしはじめ、キンミズヒキやゲンノショウコ、ホトトギスといった秋の花が苑内の足下をさりげなく彩ってくれています。また、10月には(株)加藤建設の社内研修を実施しました。2日間の研修プログラムの中では、植樹や苗木の種子採取といった森づくり活動をはじめ、外来種の駆除や、同じ長南町にある、ゲンジボタルが生息できるような配慮してつくられた水田などを見学しました。参加された方々の熱心な作業姿勢や、生きものへの旺盛な好奇心から、こちらもたくさん学びを頂きました。



《その他お知らせ》

- ◆インスタグラム更新中 morinooben
森の墓苑から日々の風景をお届けしています。スタッフ自身の撮影ショットを是非ご覧ください。
- ◆三井住友信託銀行で森の墓苑ロビー展を巡回中
2017年3月9月に三井住友信託銀行の千葉県内の全支店で、新しいトラスト活動の形として森の墓苑を紹介するロビー展を開催していただきました。秋からは関東全域に広げて巡回中です。
- ◆年末年始について 年末は12月28日まで、年始は1月4日より営業します。
- ◆見学について 事前にご連絡ください。土日祝日も開苑しています。開苑時間(11~3月は10時~15時) 4~10月は9時~16時

